

京都大学学術情報メディアセンター大型計算機システム利用負担金規程新旧対照表

改 正 前	改 正 後
<p>(前 略)</p> <p>第2条 利用負担金の額は、<u>別表</u>に掲げる区分に応じた利用負担金額により計算したそれぞれの額の合計額とする。</p> <p>(後 略)</p> <p><u>別表</u> (略)</p>	<p>第2条 利用負担金の額は、<u>別表1</u>及び<u>別表2</u>に掲げる区分に応じた利用負担金額により計算したそれぞれの額の合計額とする。</p> <p>附 則 この規程は、平成21年4月1日から施行する。</p> <p><u>別表1</u> (別 添) <u>別表2</u> (別 添)</p>

別表1 スーパーコンピュータシステム

コース	タイプ	セット	利用負担額	提供サービス					
				システム	バッチ	システム資源	経過時間 (時間)	ディスク (GB)	利用者 番号
エントリー		基本	12,600 円/年	Thin SMP	共有	最大1ノード相当(並列数16、メモリ32GB)	1	60	
パーソナル	タイプ1	基本	100,000 円/年	Thin SMP	共有	最大2ノード相当(並列数32、メモリ64GB)	168	600	
	タイプ2	基本	100,000 円/年	Fat SMP	共有	最大2ソケット相当(並列数8、メモリ64GB)	168	600	
グループ	タイプ1	最小	250,000 円/年	Thin SMP	優先	2ノード((16コア、メモリ32GB) × 2)	336	2,000	6
		追加単位	250,000 円/年					2,000	6
	タイプ1B	最小	300,000 円/年	Thin SMP	準優先	4ノード((16コア、メモリ32GB) × 4)	336	2,400	12
		追加単位	150,000 円/年					1,200	6
	タイプ1C	最小	750,000 円/年	Thin SMP	占有	4ノード((16コア、メモリ32GB) × 4)	336	4,000	12
		追加単位	375,000 円/年					2,000	6
	タイプ2	最小	400,000 円/年	Fat SMP	優先	4ソケット(16コア、メモリ128GB)	336	4,000	12
		追加単位	200,000 円/年					2,000	6
	タイプ2B	最小	240,000 円/年	Fat SMP	準優先	4ソケット(16コア、メモリ128GB)	336	2,400	12
		追加単位	120,000 円/年					1,200	6
大規模ジョブ	タイプ1	最小	24,000 円/週(7日)	Thin SMP	優先	4ノード((16コア、メモリ32GB) × 4)			
		追加単位	6,000 円/週(7日)						
	タイプ2	最小	20,000 円/週(7日)	Fat SMP	優先	4ソケット(16コア、メモリ128GB)			
		追加単位	5,000 円/週(7日)						
専用クラス		最小	750,000 円/年	Thin SMP		4ノード((16コア、メモリ32GB) × 4)		4,000	12
		追加単位	375,000 円/年					2,000	6
ライセンスサービス			20,000 円/年	可視化ソフト(AVS,ENVI/IDL)およびプリポストウェアの1ライセンスにつき					

備考

1. 利用負担額は、年度単位で算定している。また、総額表示である。
2. 大型計算機システムの全ての利用者は、上記表のサービスの他、次のサービスを受けることができる。
  - 1) 大判プリンタサービス
  - 2) その他、大型計算機システムが提供するサービス、機器の利用
3. 上記表の大規模ジョブコース、ライセンスサービスの申請には、大型計算機システムの利用者であることが必要である。
4. 「共有」：当該カテゴリのユーザ間で一定の計算資源を共有するベストエフォートのスケジューリングを行う。  
 「準優先」：定常稼働状況において記載値(以上)の計算資源が確保されるように優先スケジューリングを行う。  
 また、稼働状況によらず記載値の1/4の計算資源が確保されることを保証する。  
 「優先」：定常稼働状況において記載値(以上)の計算資源が確保されるように優先スケジューリングを行う。  
 また、稼働状況によらず記載値の1/2の計算資源が確保されることを保証する。  
 「占有」：稼働状況によらず記載値(以上)の計算資源が確保されることを保証する。
5. ディスク容量はバックアップ領域(最大で総容量の1/2)を含む。
6. グループコース及び専用クラスコースのシステム資源は、下記の負担額を支払うことにより増量することができる。  
 なお増量は毎月1日に実施し、増量した資源は当該年度末までの期間にわたって利用されるものとする。

コース	タイプ	追加負担金額(増量単位あたり)	システム資源増量単位	ディスク増量(GB)
グループ	タイプ1	25,000 円/月	2ノード((16コア、メモリ32GB) × 2)	2,000
	タイプ1B	15,000 円/月	2ノード((16コア、メモリ32GB) × 2)	1,200
	タイプ1C	37,500 円/月	2ノード((16コア、メモリ32GB) × 2)	2,000
	タイプ2	20,000 円/月	2ソケット(8コア、メモリ64GB)	2,000
	タイプ2B	12,000 円/月	2ソケット(8コア、メモリ64GB)	1,200
専用クラス		37,500 円/月	2ノード((16コア、メモリ32GB) × 2)	2,000

7. グループコース及び専用クラスコースを通年でなく利用する場合には、下記の負担額を支払うものとする。  
ただし、利用期間は当該年度内に限るものとする。

利用期間		3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	
グループ コース	タイプ1	最小	100,000 円	150,000 円	225,000 円
		追加単位	100,000 円	150,000 円	225,000 円
	タイプ1B	最小	120,000 円	180,000 円	270,000 円
		追加単位	60,000 円	90,000 円	135,000 円
	タイプ1C	最小	300,000 円	450,000 円	675,000 円
		追加単位	150,000 円	225,000 円	337,500 円
	タイプ2	最小	160,000 円	240,000 円	360,000 円
		追加単位	80,000 円	120,000 円	180,000 円
	タイプ2B	最小	96,000 円	144,000 円	216,000 円
		追加単位	48,000 円	72,000 円	108,000 円
	専用クラス コース	最小	300,000 円	450,000 円	675,000 円
		追加単位	150,000 円	225,000 円	337,500 円

8. グループコース及び専用クラスコースの利用者番号は利用者あたり年額5,000円を負担することで追加できる。

9. 機関・部局定額制度

他機関又は学内における部局（『国立大学法人京都大学の組織に関する規程』第3章第2節から第11節で定める組織をいう。）の組織が、その組織単位でグループコースサービス（年間）の利用を申請する場合、料金表（年間）に掲載額の1.5倍を利用負担金とする。なお、利用負担金額が150万円未満の場合は100人、150万円を超える場合は、150万円毎に100人までの利用者を認める。

別表2（汎用コンピュータシステム）

区分	利用負担額	単位
VMホスティングサービス	126,000円/年	1仮想マシンにつき
ホームページサービス	31,500円/年	1ドメイン名につき
個人向けホームページサービス	12,600円/年	1アカウントにつき
メール転送サービス	12,600円/年	1ドメイン名につき

備考

1. 利用負担額は、総額表示である。
2. 上記表の汎用コンピュータシステムのサービスを利用するためには、大型計算機システムの利用者であることが必要である。
3. ホームページサービス及びVMホスティングサービスにおいて、下記の負担額を支払うことによりオプションサービスを利用することができる。

オプションサービス種別	利用負担額	単位
データベース(Oracle)	63,000円/年	1アカウントにつき
ストリーミング(Helix Server)	31,500円/年	1アカウントにつき

4. VMホスティングサービスのシステム資源は、下記の負担額を支払うことにより増量することができる。

種別	利用負担額	単位
ディスク	10,500円/年	100GBにつき
システム資源	100,800円/年	1台につき

システム資源1台とは、CPU:2コア,メモリ:2GBである。

5. VMwareを用いたVMホスティングサービスは、下記の負担額を支払うことにより利用・増量することができる。ただし、システム資源が非常に限られているためサービスを提供できる場合が限定される。

種別	利用負担額	単位
標準機能サポート	25,200円/年	1仮想マシンにつき
ディスク	10,500円/年	100GBにつき
システム資源	201,600円/年	1台につき

システム資源1台とは、CPU:1コア,メモリ:2GBである。

6. 利用負担額は、当該年度（4月から翌年3月まで）の利用に対して年額として算定するが、年度途中から利用を開始する場合には月数に応じて減額する。